

# 上京

## 史蹟と文化

上京区120周年記念

美を創る

市長・区長の挨拶

上京の史蹟

上京区・文化フェスティバル

京都御苑から

公家屋敷の能舞台発見

車椅子からの出発

春の上京茶会

上京クイズ

VOL.17  
1999

# 「上京・史蹟と文化」

## 第十七号の発行に当たつて

京都府長

中島泰之助  
上京区文化振興会会長



大なる御尽力に対し、改めて心から敬意と感謝を申し上げます。

歴史と文化・芸術性の香り高い「上京・史蹟と文化」十七号が、上京区百二十周年を記念して、発行されますことを心からお喜び申し上げます。

また、本誌編集の中心となつておられます上京区文化振興会におかれましては、昨年創立四十周年を迎られ、新たな一步を踏み出され、この冊子を発行されましたことに敬意を表しますとともに、一言お祝いを申し上げます。

ここ上京区は、平安京以来、長い歴史と伝統を受け継ぎながら、進取の気風に富む町衆のたゆまぬ努力によつて、絶えず新しい文化を創造し、発展を続けてまいりました。

また、歴史ある区民茶会や区民薪能の開催をはじめ、この「上京・史蹟と文化」の発行など、上京区をこよなく愛される区民の皆様方によつて、現在においても成熟した市民文化が息づいております。長年にわたる皆様の方の多

### 『上京・史蹟と文化』の発展を祈つて

上京区長 戒能四郎

千年にわたる多くの史蹟もかくして、人々の記憶から忘れられ、消滅するのではなかろうか（前身の「上京史蹟だより」）の危惧を抱かれた中島孝助文化振興会会长は、「上京に住むする私達は、かつて歴史の脚光を浴びた文化史蹟を守らねばならない」という強い思いで、平成四年二月、この「上京・史蹟と文化」を発刊されました。本誌も発行を重ね今回で十七号となりま

### 上京区百二十周年 十七号発行にあたり

文化振興会会長代行 小谷一之

今年は上京区が誕生してより百二十周年の節目を迎えることとなり、「上京・史蹟と文化」も第十七号が発行されることになりました。歴史的伝統と文化に培われたこの上京の地に生を受けられ、又今日まで区を支えてこられた多くの方々と共に祝意を表したいと存じます。

さて残念なことに本誌「上京・史蹟と文化」創刊以来「美を創る」と「上京の史蹟」の執筆を主とし、編集発行責任を務めていた中島孝助上京区文化振興会会长の御冥福をお祈り申し上げますとともに、本誌の発行に御尽力をいたしました上京区ふれあい事業実行委員会と上京区文化振興会のますますのご発展を念願致します。

したが、去る七月十日、中島会長が急逝されました。会長には、上京区の文化活動の中心としてご活躍いたぐとともに、百二十周年の記念誌の編集をお願いしておりましたこともあり、悲しみも、また、落胆もひとしおであります。

しかし、この悲しみを乗り越え、これまで以上に躍動する上京区の文化を育てていただき、今後、更に発展させていただくことを祈念してやみません。

代中島泰之助氏以来父子二代に亘り上京区の文化事業の推進に寄与された功績は多大なものであります。

その遺志を継ぐべく、推敲中の原稿をご遺族からご提供を頂き、その功績に報いるべく遺稿として本誌に掲載させて頂くことに致しました。

本誌十七号の「上京の史蹟」は百二十周年記念誌の通史として書き始められたもので未完となつておりますが、氏の上京区に対する情熱を埋もれることなく生かしてご冥福をお祈りしたいと思います。

上京区の文化振興の一環として「上京・史蹟と文化」と共に編纂して参りました一同、諸事業に寄せられたお心に対し、謝意を表したいと存じます。

# 美を創る

タカギ織維株式会社

代表取締役社長 高城利治氏

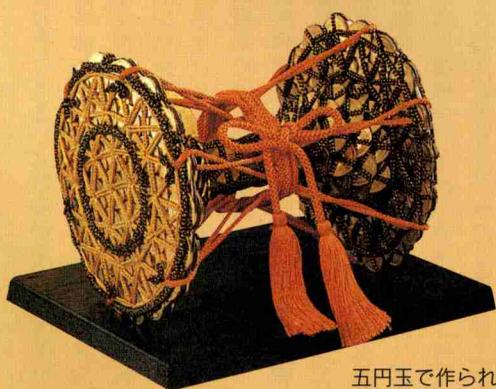
京都市上京区中立売通り堀川西入る

日本の手芸の歴史も古い。東北や関東その他多くの地方で手芸品がその土地の特産品として扱われてきた。これらは世界共通の思想があるのか、親から子へ、子から孫へと受け継がれていく。かつてインド刺繡の勉強をしていた頃、パンジャブ地方の話にあつたと記憶しているが、その地方では女性の孫が生まれると、祖母はリグプエダの經典を唱えながら、孫の結婚を夢に見つつ、婚礼衣装の刺繡を作り上げていくという風習があり、その衣装の美しく晴れやかなことは言語に尽くしがたかった。

このようにして、手芸品が代々受け継がれていったと思われるが、一九二二年、インドのインダス川西岸にあるモヘンジヨダ口遺跡で英國の探險隊によつて、紀元前二五〇〇年から二〇〇〇年と考えられる多くの埋蔵品が発掘された。その埋蔵品を見ても分かるように、すでにこの時代から人類は子孫に残していくべき多くの文化財を貯蔵していたことが分かる。

次第に手作りの作品が失われていく昨今。このように心のこもった手作りの文化財が昔同様に受け継がれていくことを願わざにはいられない。

タカギ織維の高城社長は、この手芸を主婦の感覚からりサイクル品の中に素材を求める人間の美意識を目覚めさせて、ゆとり心を育んで行くことの大切さをこの手芸の仕事を通して実現できるよう念願されている。



五円玉で作られた鼓

# 上京の史蹟

## その十六 平安京前史

### はじめに

日本経済は未曾有の危機に直面し、やがてはそれは、経済だけではなく、政治や社会まで巻き込み、足もとから音を立てて崩れ始めた。平成十一年に入つて、経済の先行きにやや光明が見えてきたものの、実態経済は相変わらず底辺を彷徨い、二月の完全失業率はついに四・六%という戦後史上最悪の状態を記録し、失業者数も三百万人を突破するという憂慮すべき事態にたち至つた。

こうした最中、平成十一年三月十四日、上京区が百二十周年という記念すべき節目を迎えたのである。顧みれば、明治十二年（一八七九）三月十四日、地方行政制度の改革によつて、「郡区町編成法」が施行され、京都の市域を三条通りで二分し、上京区、下京区、

の二行政区が誕生した。これは実に京都市制の誕生より十年も先立つてのことである。

明治十二年以降の新生京都を眺めるとき、上京区が他区とまったく異なる発展を遂げてきたとは考えられない。いろいろ試行錯誤を繰り返した結果、桓武天皇による平安遷都以来、千余年の永きに亘り、上京の街は常にわが国の政治、経済、文化の中心地であり、その時々の為政者の行動パターンによって変化を繰り返しつつも、その底辺には、常に日本の中心地としての自負心を失うことなく盛衰を繰り返してきた歴史をもう一度顧みることにした。

**平安京の道程**

さあ千三百年の過去へタイムスリップしてみよう。そこで私たちが見るものは何か。

宝亀元年（七七〇）八月四日、奈良平城京内の大和朝廷に大事件が発生した。即ち、称徳天皇（聖武天皇の娘・女帝）の死である。何故なら、称徳天皇にはその皇位を継ぐべき皇子がないかったのである。当時は皇權そのものがまだまだ不安定であり、天皇という地位に付属する権力そのものもまた流動的であった。そのため、天皇個人の

う。平安末期には源平の兵馬が激しく土を跳ね返し駆け巡つていたかも知れない。しかし、いま彼等は、生の声では語つてくれないが、私たちが過去の歴史を顧み、想像することによつて、歴史の風化を食い止めることになるのではないか。この厳しい現代社会に生を営む私たち、いま一度、過去と振り返ることによつて、私たち祖先の足跡と、彼等が如何に京都を愛し、京都の街を守り育ってきたか、また、何故、世界的にも希な千年余という永きに亘つて京都が都として存在したのかを改めて検証し、将来への何かの糧としていただければ幸いである。

今一つ、称徳天皇の死によつて大和朝廷にもたらされる大事件は、天武天皇の皇系が絶え、新たに天智天皇の孫である白壁王、即ち、光仁天皇が即位した事であった。ここで皇系は、天武系から天智系へと移行したのである。この皇系の変転は、古代の貴族社会に重大な問題を投げ掛けている。この場合も、政権構成に大きな変化が現れている。即ち、今まで天武系に在つて、政権を思うがままに牛耳つていた大伴家一族の権勢は衰退し、変わつて、百川（もつかわ）を中心とする藤原式家が再び権力の座に登場した事である。何故「再び」なのか。これは、当時から約百年以前、天武天皇元年（六七二）六月二十四日、皇

位繼承権を巡り天智天皇の皇太子・大友皇子と、天智天皇の弟・大海人皇子（天武天皇）が互いに叔父、甥の仲でありながら相争い、その結果、大友皇子が破れ七月二十三日に自殺するという大事件「壬申の乱」が発生したのであつた。それによって大海人皇子の天武天皇が政権を掌握し、百年の永きに亘つて大和における天武系の皇系を保ってきた。その時、大海人皇子に協力し政権を握つたのが大伴家であり、一方、藤原式家は、天智系の衰退によつて政界から姿を消したのであつた。

しかし、だからと言つてスムーズに政権交替が行われたかといえば、決してそうではなかつた。即位早々の光仁天皇にはまだ充分な権力はなく、そのため、聖武天皇の娘である井上内親王を後に迎え、皇太子には、おさへ井上皇后の子である他戸親王を立てることで、天武系の皇統を維持して行こうと言う苦肉の策での妥協が、天武系の官僚との間で交わされたのである。このような体制は、前政権の遺産とも言うべき井上皇后と他戸親王の失脚劇を演出す

るのである。即ち、井上皇后が光仁天皇を廢してわが子である他戸親王の即位を願つて呪詛したと言う事であつた。この事件の真相は明らかではないが、充分に考えられる事でもあり、また、井上皇后自身が前帝に倣つて女帝になることを願つていたとしても、當時としては決して不思議な事ではないのである。

織を牛耳り、自らの政治理念を貫くには余りにも年を取り過ぎていたと言えよう。それ故、この光仁朝は桓武天皇即位までの、い



### 平安宮模型（京都市歴史資料館蔵）

政権交替が行われたかといえば、決してそうではなかった。即位早々の光仁天皇にはまだ充分な権力はなく、そのため、聖武天皇の娘である井上内親王を後に迎え、皇太子には、井上皇后の子である他戸親王を立てることで、天武系の皇統を維持して行こうと言う苦肉の策での妥協が、天武系の官僚との間で交わされたのである。このような政治過程の中で、光仁、そしてその後の桓武体制を支える新官僚体制が、藤原式家の中から出てくる。そして、その体制は、前政権の遺産とも言うべき井上皇后と他戸親王の失脚劇を演出す

ある。これに代つて政治の表舞台に登場するのが、大和朝廷ではまったく即位の可能性がなかつた天智系の白璧王、即ち、光仁天皇である。しかし、彼が即位をしたのは既に六十三歳という當時としては大変な老齢であつたため、彼を擁立した藤原式家の新官僚組

であったと理解すべきではないだろうか。

天応元年（七八一）、光仁天皇が七十三歳という高齢を理由に退位

時も早い奈良脱出と、新京の建設に思  
いを巡らしていたのである。

「奈良から脱出せねば」この思いは  
桓武天皇が即位早々に感じたものでは  
なく、恐らく、立太子になつた頃から  
の懸案であつたと思う。それでは、何  
処に新京を建設するのか？何處でもよ  
いと言うものではない。都として充分  
な条件を備えたところではなくてはな  
らない。まず、頭に浮かんだのは母方  
の里である乙訓ではなかつたろうか。  
ここなら、東には桂川、西には山陰道、  
北には北山と丹波山系、東南には広大  
な巨椋池おおらわいけが広がり、近くで桂川、木津  
川、宇治川の三河川が合流し、淀川と  
言う大河を形成する交通の要所であ  
る。乙訓はまた、秦氏はだという日本最大  
の帰化民族のハイレベル技術集団が支  
配しており、しかも彼等とは血縁の間  
柄で、今後、新京において新たなる律令  
国家を築く上に彼等の技術力、経済  
力、生産力は、必要欠くべからざる  
ものであつた。彼は腹心である藤原種  
繼ふじちらのおぐらにこのことを打ち明  
け、密やかに秦氏と連絡を取りながら  
新京造営の土地選定を行つていたので  
はなかろうか。

藤原種繼は、藤原式家百川の甥であ  
り、母は秦氏の出身であつた。また、藤

原小黒麻呂は妻が秦氏の出身と、まさ  
にこの役には打つて付けではなかつた  
かと思う。彼等の報告を聞き、最終的  
に決定されたのが長岡京であつた。  
延暦元年（七八一）一月十一日、因  
幡國守に任じられていた水上川継が即  
位間もない桓武天皇を暗殺しようと言  
うクーデター事件が発覚した。川継は  
その三日後に捕らえられ、普通なら死  
罪のところ、たまたま光仁天皇の諒闇  
(天皇がその父母の喪に服する期間)  
であつたため、罪一等を減じられ伊豆  
へ流刑となるが、この事件の背後には  
天武系の一族や高級官僚たちの皇権奪  
取の計画が鮮明に現れていた。この事  
件を契機として、桓武は平城京に根強  
く残る旧勢力の一掃を計るため、長岡  
京への遷都を決意したと思われる。

新規造営が藤原種繼を造営の最高責任  
者として開始された。長岡京の造営は  
急ピッチで進められた。これには当然  
秦氏を始めとする帰化氏族たちの技術  
的支援が大きく貢献したのである。そ  
して、その年の十一月十一日、桓武天  
皇は弟の早良皇太子を伴い、新京へ遷  
都している。奠都の号令から僅かに半  
年後の遷都であった。この遷都に先立

つ三日前の十一月八日、午後八時頃か  
ら翌午前四時頃に掛けて満天の星が一  
時に動き、降り注ぐが如く夜空に舞つ  
たという。人々はこれを遷都の予兆と  
感じたようであるが、これは偶然、彗  
星軌道の塵の中を地球が横切つたにす  
ぎなかつたのである。

&lt;/div

も判つた。この大伴家の二人を尋問していくと、この事件の首謀者は一ヶ月前に病によつて死亡した大伴家の総帥・大伴家持であつた事が発覚した。天皇は、この事件に関わつた八名を反逆罪で斬刑に処した。しかし、事件はこれで解決したわけではなかつた。更に追求して行くと、早良皇太子が関わつていたという容疑まで出てきた。そして、犯人逮捕から四日目の九月二十八日、早良親王は廃太子となり、身柄を春宮から長岡京の乙訓寺に移し幽閉した。しかし、親王は自らの無実を訴え、ハンガーストライキで抗議をしたが、十日目についに力尽き、餓死をしてしまうのだった。桓武天皇は、その屍を淡路に運び流刑処分として葬つたのだから、如何にこの刑が苛酷であったかが伺える。

このようにして種繼暗殺事件は電光石火の早さで解決をみた。そして、大伴家持の処分は、事件後、生前の官位を剥奪され、死体も辱められたと、史書は記している。当然の事ではあるが、これによつて大伴家一族は没落、藤原式家もまた種繼の死によつて凋落し、それに代わつて藤原南家が勢力を拡大するのである。

早良親王の廃太子と死によつて、桓

武天皇は十二歳の自らの皇子・安殿親王を立太子させたのである。しかしながら、この事件は発生から解決までが余りにも手際よく、逆に桓武が子安殿親王を立太子にするために仕組んだ謀反劇ではなかつたか、と歴史家の間でも取り沙汰されている。何はともあれ、謎の多い事件であつた。

事件の真相は別として、一応の解決を見たわけであるが、この事件が桓武天皇を始めとする政権に与えた政治的、精神的影响は大変大きいものであつた。まず、政治的な影响であるが、桓武天皇が志した律令政府は奈良平城宮を離れ、新天地である長岡京において土地の豪族や帰化氏族などの協力を得て、質量ともに今までにはなかつた新しい都市機構を築き上げる計画であった。しかし現実は、依然として旧勢力の力は衰えず残存しており、彼等

は平城宮という旧都市で旧体制を保持しつつ、桓武、藤原式家による新しい律令体制に正面から戦いを挑んだのである。その上、平城宮に慣れ親しんだ都市民は、長岡京には容易に移らず、この状態では経済的にも都市機能が成立しなかつたのである。それにも増して精神的影响は実に大きい。というの

は、桓武天皇が必要以上に早良親王の

武天皇は十二歳の自らの皇子・安殿親王を立太子させたのである。しかしながら、この事件は発生から解決までが余りにも手際よく、逆に桓武が子安殿親王を立太子にするために仕組んだ謀反劇ではなかつたか、と歴史家の間でも取り沙汰されている。何はともあれ、謎の多い事件であつた。

こうした政治的、経済的、精神的な理由から、今一度遷都を行い、人心を一変させねばという思いが、桓武天皇の心を支配し始めていたことは確かであろう。特に、精神的な面で早良親王の怨靈が桓武天皇の前に形となつて現れるようになつてくる。即ち、延暦七年（七八八）五月、夫人の藤原旅子が病で没し、更にその翌年の十二月には実母の高野新笠が、続いて、延暦九年（七九〇）三月には皇后の藤原乙牟漏が亡くなつたのである。そして、その二年後、最愛の息子である安殿皇太子が重病に倒れるという事態が発生した。事ここに至つて、桓武は陰陽師に命じ事の次第を占わせたところ、早良廢太子の怨靈のなせるわざ、といわれ、彼もまたその託宣を信じるほかなかつた。

道程は実に遠く、奈良平城京を出發してから十年の歳月を要したのである。



平安京模型（京都市歴史資料館蔵）

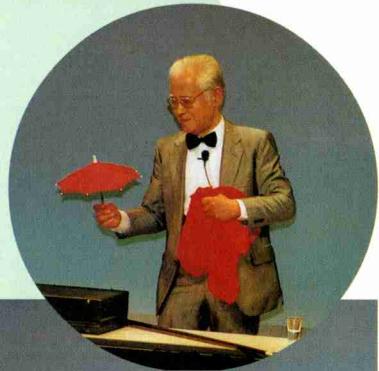
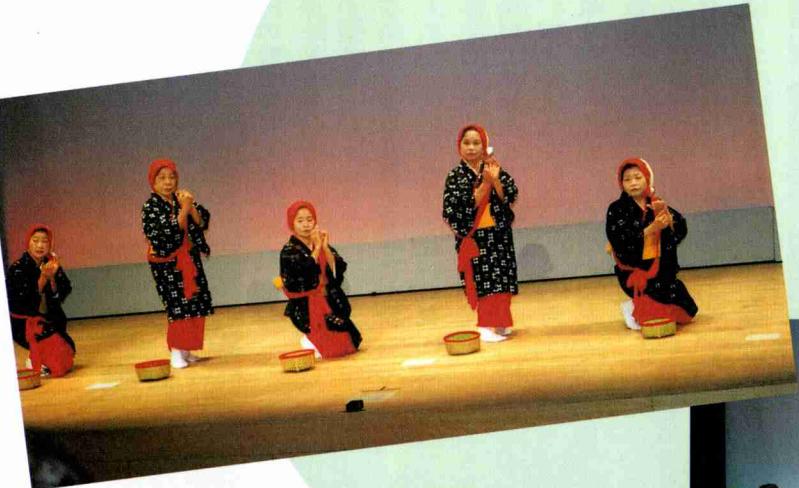
# FESTIVAL

## 第5回上京区民文化フェスティバル

上京区民ふれあい事業実行委員会が4回にわたって実施してきました「上京区民サークル発表会」は第5回を迎えるにあたって、「上京区民文化フェスティバル」と装いを改め、上京区地域女性連合会の主管で、2月27日に行われました。会場のウイングス京都には立見も出るほどの超満員、地元学区の熱演に拍手が鳴り止みませんでした。



P	R	O	G	R	A	M
歌謡舞踊 創作舞踊 コーラス コーラス いつでも夢を…	歌謡舞踊 松ノ木小唄 フラダンス 高木 恵子 春の唄 長崎ワルツ	歌謡舞踊 ラ・シュギーマズールほか 第二重奏 フォーケダシス	歌謡舞踊 根室の辰 フォーケダンス ラ・シュギーマズールほか ダンスボビュレー・ヌプリバ 神原佐知子・伊藤泰子 カラシナ・フィールほか	民踊 全国御町内音頭 マリンバ演奏 マジック 新舞踊 茶切節	マイラニ・杉フラスタジオ エリート・シンコペーションほか マリンバ・トリオ・アンサンブル・マレッツ 夢(ドリーム) 野田 進一 翔鸞婦人会	民謡 古城ほか 京都の民話 蜷薬師 民踊 相川音頭 社交ダンス ジルバ・ルンバ 太極拳 揚式規定「タイタニック」 小川女性会
コーラス 全 員	高木 恵子 三木まりこ 樂舞友会 室町・小川フラグループ織田 西陣女性会	高木 恵子 カイマナ・ヒラほか 神原佐知子・伊藤泰子 アカシヤの雨がやむとき	高木 恵子 三木まりこ 樂舞友会 室町女性会 出水女性会	上京合同 上京合同 出水女性会	成逸女性会 馬場 康子 京極女性会 乾隆女性会 出水女性会	琴生流西陣教室 室町女性会 馬場 康子 乾隆女性会 出水女性会
乾隆女性会 室町女性会 出水女性会						大正琴 琵琶湖周航の歌ほか 琵琶湖周航の歌ほか



花にまつわるエピソード…  
季節も添えて演出します。



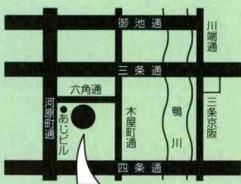
2F カフェ

全国どこへでもお花をお届けいたします。  
京都市上京区烏丸通今出川下ル 〒602-0903  
TEL. 075-414-8700(代) FAX. 075-414-7787



RISTORANTE  
**FUKUWARA**  
フクムラ

AM 11:00 ~ PM 3:00 PM 5:00 ~ PM 9:00  
〒604-8054  
京都市中京区書小路四条上ル路地  
☎ (075) 255-2060



**Ciao Pasta**  
チャオ パスタ

AM 12:00 ~ PM 10:00  
〒604-8032  
京都市中京区六角通河原町東入ル  
☎ (075) 255-5733

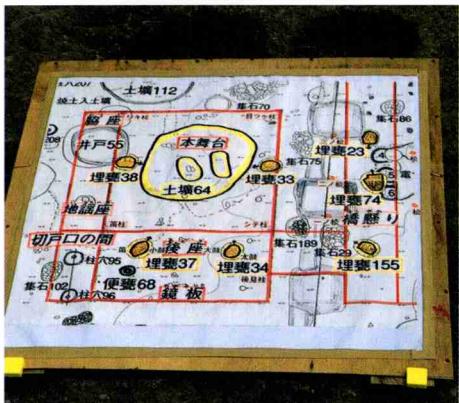
# 京都御苑から公家屋敷の能舞台発見



能舞台下の埋甕



能舞台の埋甕と土壌



能舞台の推定図

京都御苑の東北隅、平安京の左京北辺四坊にあたる一帯では、和風迎賓館の建設予定地として発掘調査が続けれています。第一次調査では、園家の邸址が明らかになり、本誌十五号（平成十年八月）でその概要をお知らせしました。その後も発掘調査が続けられておりますが、今回第三次調査として、柳原家の邸址が明らかになりました。

調査は京都市埋蔵文化財研究所によつて四月十九日から始められ、このほど七月十日に現地説明会が行われました。

今回の調査地は第一回調査地の南側で、平安京の正親町小路と富小路が交差するところに当たります。江戸時代の「寛永後万治前洛中絵図」では、清水谷家全域と柳原家の北半分に該当しますが、宝永の大火後、清水谷家は移転し柳原家が北へ広がり、園家と境を接したと見られます。柳原家は旧伯爵武家伝奏を勤めました。また大正天皇

中でも貴重なのは、能舞台の跡が発見されました。その時の管見と資料によつて発掘の成果を紹介させていただきます。

この一帯は饗宴場跡広場といわれるよう、昭和三年の大典に際して饗宴殿が建てられた場所であつたところです。今回の説明会で公開されたのは、明治初年に公家衆が東京へ移つた家屋敷を取り壊つた遺跡の部分でした。火災による廃墟でないために、江戸時代末期の公家屋敷の姿を知ることができます。

の御生母である柳原一位局もこの家の出身でした。

京都御苑の東北隅、平安京の左京北辺四坊にあたる一帯では、和風迎賓館の建設予定地として発掘調査が続けれています。第一次調査では、園家の邸址が明らかになり、本誌十五号（平成十年八月）でその概要をお知らせしました。その後も発掘調査が続けられておりますが、今回第三次調査として、柳原家の邸址が明らかになりました。

調査は京都市埋蔵文化財研究所によつて四月十九日から始められ、このほど七月十日に現地説明会が行われました。

今回の調査地は第一回調査地の南側で、平安京の正親町小路と富小路が交差するところに当たります。江戸時代の「寛永後万治前洛中絵図」では、清水谷家全域と柳原家の北半分に該当しますが、宝永の大火後、清水谷家は移転し柳原家が北へ広がり、園家と境を接したと見られます。柳原家は旧伯爵武家伝奏を勤めました。また大正天皇

中でも貴重なのは、能舞台の跡が発

**耳鼻咽喉科**

**鈴木医院**

〒602-8241 京都市上京区中立売通堀川西入

TEL (075) 441-0675



中立売通  
堀川通

■診療時間  
月・火・水・金  
午前9:00~12:00  
午後4:30~ 7:30  
土  
午前9:00~11:30まで  
●休診 木・日・祝

**砂糖・甘味料・食品原材料元卸  
ギフト用砂糖セット製造販売元**

**松宮砂糖商事株式会社**

〒602-8471  
京都市上京区五辻通淨福寺西入  
TEL (075) 431-3351代  
FAX (075) 431-3355

## 第九回「上京区民史蹟ウォーキング」は、十一月十四日に行われます。

見されたことです。中流の公家屋敷に能舞台のあったことは、これまで考えられなかつたことで、これも武家伝奏として柳原家が能楽を愛好する武家の接待に用いたのでしょうか。ここが能舞台であるとわかつたのは、七個の埋甕が出土したことによります。今も能舞台の下には響きをよくするために甕が埋められています。本舞台に二つ、後座に二つ、橋懸りに三つ、信楽焼の通常の甕が口を傾けて埋められており、その位置から舞台の平面も復元できます。ただ異例なのは橋懸りが後座から真直ぐ、あるいは斜めになるのに対して、後座から折れ曲がって本舞台と平行していることです。おそらく周囲の敷地に余裕がなかつたからかと思われます。本舞台の中央には土壙、その両側に埋甕のあることから考えて

も、この土壙が舞台の響きをよくするものであったのでしょう。残念ながら、橋懸りにつづく樂屋や見所は遺跡が攪乱していて、よくわかりません。

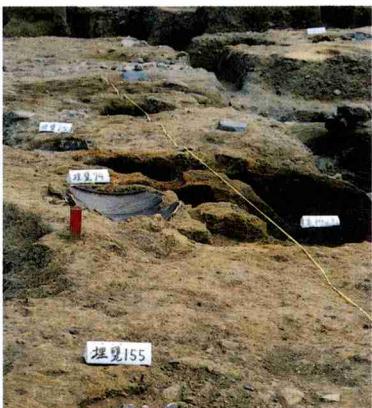
このほか調査区の南端には庭園とその池や溝が検出されています。池は長さ約六メートル、幅約一・五メートルの大きさで、漆喰で底を塗り固め、魚寄せが円形に窪められており、その東側には粒の揃つた小礫を敷き、池から溢れ出した水が流れ込むようになつたのでしょう。

出土した遺物は当然のことながら、江戸時代後半から幕末の陶磁器が主ですが、ミニチュアの箱庭道具はまだ記憶にのこされているのではないでしょうか。

(写真と文 出雲路敬直)



庭園の池跡



ポッペン



上京区文化振興会主催の「絵手紙教室」が今年も開かれました。六月三十日から七月二十八日までの毎週火曜日に上京区役所を会場として、二十七名の方々が八木鴻石先生の指導で、熱心に絵手紙を完成させて行きました。昨年につづいて受講した方も多く、一年の間の進歩の目ざましさが見られました。

**今年も  
絵手紙教室開催**

## 車椅子からの出発

# 愛に支えられた 第二の人生

エッセイスト 鈴木ひとみ氏



そんな絶望的な中で、今の夫がどれほど私の支えになつたかわかりません。その当時はまだ結婚していませんでした。もし事故に遭わなければ、三週間後で大阪で結納、翌年の春に式を挙げる予定でした。事故に遭つてからも、ショッちゅう病室へやつてきて、多くの人が私に必ずいう「ひとみちゃん、がんばればきっと足は動くようになるわよ」という慰めを、彼は一度もしませんでした。その代り、少しでも快適に過ごせるようにと、さまざまな工夫をしてくれました。例えば、寝ながら首を動かさずにテレビが見られるように、Zライトと鏡を買ってきて、その笠の部分にボンドで鏡を貼りつけたのです。私は寝ながら反対に写ったテレ

ターナーショナルに選ばれ、一年間の任期を終えたあと銀行員を退職してファッションモデルをやっていました。その仕事の時、雨の中高速道路で交通事故に遭い、下半身は動かず、病室のベッドの上で天井だけを見続ける毎日となりました。

相変らず彼は病院に現れては楽しい話題で気をまぎらわそうとしてくれました。そんな彼の心遣いに触れるたびにものすごくうれしい反面、私の存在が彼にとっての大きな負担になつているのではないか。同時に私と彼との将来の事も思い悩むようになりました。でも私はその事について自分の口から話すことはできませんでした。それでも手紙を書いて彼に渡しました。その時手紙を読んでいたときも、震えるような字で大

ビを見ることができました。うんざりするほどの対面から開放されたのです。病室で行われる訓練というのは、例えれば食事でいえば自分一人で食べられるようになれば、それで卒業なのです。その方法がお箸であっても、フォークであってもかまわないので。でもそれ以上のレベルを目指とするならば、あとは本人の工夫と努力しかありません。そのことを教えられました。

入院中、彼から勇気づけられて、何よりもうれしかったのは、事故に遭つて三ヵ月後に彼から貰った手紙でした。

のぶちゃんへ。いつも来ててくれた  
ありがとうございました。始めの頃より  
三ヶ月です。宮本先生は神経が戻  
るか戻らないかは三ヶ月が目安だ  
と言つていました。は体調は良くなつてき  
ているけれども、神経がなかなか下の方まで  
来ないので、時間が経つのが怖  
い。このままだつたらどうしよ  
う。どうしたらよいのだろう。もし  
し、のぶちゃんが、突然気がつ  
いたら病院にいて下半身の神経がな  
かつたら、全く感覚がなくなつて  
いたらどうしますか。私だって健  
康な時、こんな質問されたらわから  
ない。どうしていいかわからな  
い。本当にわからない。こんな事、  
のぶちゃんに言つても困るでしょ  
う。私だって相手の立場なら励ま  
すしか方法がないものね。でもど  
うしていいのかわからないので  
す。身体のこと、退院してからの  
こと、のぶちゃんのこと。のぶ  
ちゃんが来た時いろんな話をした  
いけど、口に出すだけで涙が出て  
続かない。思つていることが伝え  
られない。思い切り泣きたい。泣  
きたけれど、一人で外にも出ら  
れない。部屋で口にタオルをくわ  
えて人に聞こえないようにしてい  
る。のぶちゃんに話す時、泣いた  
らとまどうでしょう。泣かずにい  
ろんな話をしたい。だから言えな

いことを手紙にします。昔話をしても悲しいだけだけれども、一緒に過ごした三年間は夢のようでした。私はのぶちゃんに、ああしてほしいとか、こうしてほしいとか、そんなことは考えていません。どうしても結婚したい、そんなことも考えていません。ただ私が何を考え、何を思って毎日過ごしているか、誰かに聞いてほしい。

こんな手紙をもらつても、おそらく答など出ません。ただ胸の内を聞いてもらいたいだけで、とてもそれ以上のことは望めませんでした。二日たつた頃、彼から返事が来ました。その手紙も読ませていただきます。

元気づけられるのだと思つています。来る日も、来る日もベットの上で怪我と不安な気持と戦うひとを毎日思い、どうしたらいいのだろうと問いかれ、僕はただただ言葉を失うばかりです。しかし、あえて言わせてもらいます。とりあえず今は自分の気持をストレートに出せばいい、泣きたければ泣けばいいし、悔しかったら叫べばいい、他人のことを気づかう必要なんで断じてない。まして僕のことなんか、思いきり悪態ついてほしい。恨み言をいつてほしい。一人で心細ければ、一緒に泣き叫んでやるし、もちろん手紙でもかまわない、それで少しでも悲しみがまぎれたら、希望と可能性をみつめてください。万一足が動かなくたっていい、二人で付き合つたっていい、一生外に出ないなんて言つていたら、一生外になんか出ることはできない。迷惑と思つててくれる人がいる。その人が一緒に生きようといつている。たとえ結婚できなくても、私はこれで生きていけると思えるようになりました。とにかくで将来のこと、先のことを考えればいいのではないかと考えられるようになりました。そのうち少しづつ身の回りのことができるようになりました。自分の力で靴下をはくことができた、そのささいなことが私にとっては大きな喜びで、また大きな自信につながったのです。

合った三年間、一緒に行つた場所、行つたことのない新しい場所、どんどん旅行しようよ。ダンシングももう一度やつてみようのだろうと問いかれ、僕はたのだただ言葉を失うばかりです。しかし、あえて言わせてもらいます。これまで一緒に生きてみようよ。こんな僕でなければ頑張つて早く退院しよう。

病室のベットで何度も繰り返してこの手紙を読みました。私のために泣いてくれる人がいる。その人が一緒に生きようといつている。たとえ結婚できなくても、私はこれで生きていけると思つたのです。

国体後に退院、結婚、加えてイギリスでの国際大会出場と回を重ね、水泳から自動車の運転まで、こなされ身体障害者の可能性について熱っぽく語りつづけられました。

この日も東京から一人で京都へ来られました。

この講演は五月十五日にホテルニュー京都で、上京区民ふれあい事業実行委員会と上京区役所の主催で行われた「五月憲法月間」講演と映画の「つどい」を要約したものでした。

第一回「上京区民ふれあい文化大学」は、十一月五日に行われます。

京・上御靈前烏丸西  
一〇七五・四四一・〇六一〇代

ひとみへ。手紙を読みました。何度も繰り返し読みました。読んで泣いて、読み返して泣いて、今少し落ち着いてきたので、この手紙を書いています。ひとみの不安な気持、つらさ、くやしさ、十分理解しているつもりでした。いや必ず理解しているつもりです。でも僕には逃げ場があります。酒に逃げ、仕事の忙しさに逃げて、自分で精神状態を都合のよいようにコントロールしていました。僕の冷静さと笑顔がひとみを励まし、



一時間半にわたる長い講演でしたので、その最初の部分を掲載させていただきます。

# 春の上京茶会

恒例の「春の上京茶会」は、紫野大徳寺の塔頭瑞峯院において五月三十日に催されました。

茶道の心得がなくても、気楽に一碗の茶に侘びの境地を感じてもらおうと  
いう趣旨で、上京区文化振興会と上京区役所の共催によって行われており、  
五百数十人の上京区民らで賑わいました。



## 会記（主 不審菴）

寄付（坐忘の席）

本席（余慶庵・家元席）

掛物 即中斎筆一行 山水有清音  
八疊床 堂本印象筆 竹林の絵

花入 唐金柑子口 大西淨心作

花 あやめ

香合 惺齋好一閑朱亀 惺齋判有  
白檀紙釜敷紙しきて

釜 真形切合 大西清右衛門作  
唐金朝鮮風炉 全右  
即中斎好日月腰フロ先屏風

吉兵衛作

黒カキ合せ塗長板

水指 惺齋好樂器マキエ真塗手桶  
元斎宗哲作 惺齋在判

茶器 惺齋好朱中次 一閑作

右近橋ノ葉張込ミ

茶碗 弘入作 光悦青苔写し

替 仁清写引舟の絵 永楽妙全作

茶杓 碌々斎作 而妙齋追銘嘉辰

建水 黒サハリ エフゴ形

淨益作

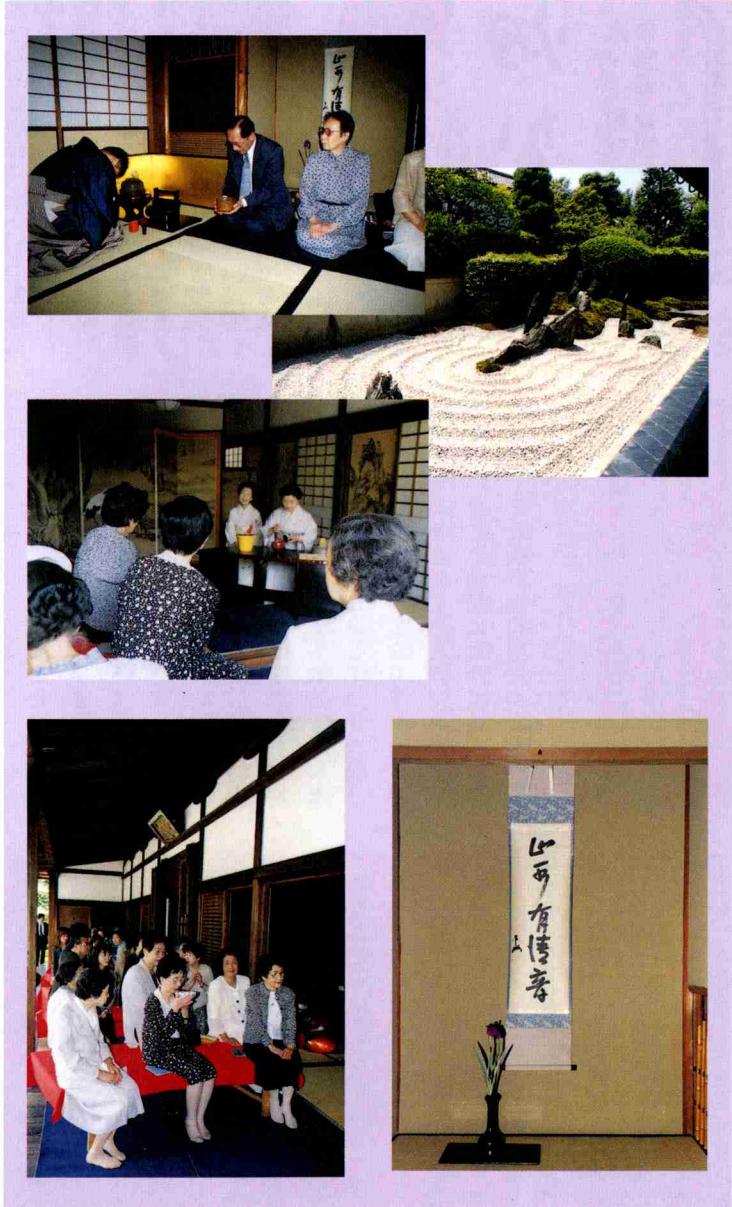
蓋置 竹引切 惺齋判

松の木摺漆銘々盆ニ

菓子 落し文 嘘月製

茶 而好斎好珠の白 柳桜園製

## 副席（立礼席・三国操氏社中）



# 上京クイズ

前回の正解は

北野天満宮の伴氏社鳥居



「これ  
どこ  
でしょ  
う?」



○正解者の中から抽籤にて二〇名の方に記念品をお送りします。

参道の西にある東向觀音寺の五輪塔は、もともとこの場所にあり、忌明塔といわれましたが、明治の神仏分離で移転したものです。（い）

ここに建つ石鳥居の柱の根元には蓮弁が彫り出されており、鎌倉時代の作と見られ、重要美術品に認定されています。前回の嚴島神社の唐破風鳥居、太秦の木島神社（蚕の社）の三角鳥居とともに京都の三珍鳥居といわれてきました。

編集後記

▽本誌も九年目に入りました。本期は諸般の事情で発行が遅れました。この点まずお詫びいたします。

▽次号は秋の行事を集大成して二月に発行できるよう準備をすすめています。

▽別冊「上京の史蹟百選」は好評で各戸配布したもの意外に希望される方が多いので、上京区役所へお越しいただければ残部を実費でお預ちしています。

「上京区の史蹟百選」訂正

▽18ページ 伊藤仁斎宅跡古義堂は、「国指定史跡」が脱落していました。

▽36ページ 竹林寺の開基、嘉元二年は誤りで、弘安二年（一二七八）が正しいとの御指摘がありました。

以上お詫びして訂正いたします。

○締切 平成十一年十一月一日  
○正解と住所・学区・氏名・電話番号を記入の上  
〒六〇二一八五一  
京都市上京区今出川通室町西入  
上京区役所地域振興課

表紙写真／京都御所御池庭

撮影 濱岡 昇氏

永年の信用と実績・真心のこもったご奉仕

葬祭センター

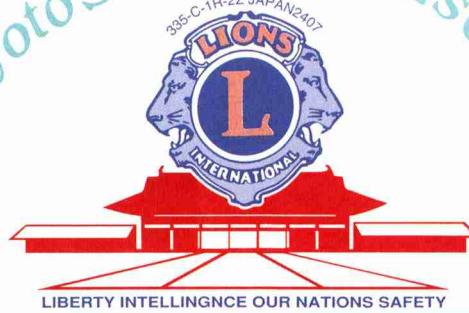
京都 公益社

本 社・京都市中京区烏丸三条下ル ☎(075)221-4000代 ●葬儀式場

堀川公益社・京都市中京区堀川通六角 ☎(075)241-4440代 公益社プライトホール／京都市東山区五条通大和路 ☎(075)551-5555代  
中 公 益 社・京都市東山区五条通東大路東入 ☎(075)561-0042代 公益社横島会館／宇治市横島町（文教大学前） ☎(0774)20-0142代  
南 公 益 社・宇治市横島町（文教大学前） ☎(0774)20-0042代 公益社滋賀会館／大津市朝日が丘1丁目 ☎(077)523-0042代

結成20周年 地域に密着した奉仕活動を・これからも!

Kyoto Shujaku Lions Club



### 京都朱雀ライオンズクラブ

1980	JR二条駅前に「平安京朱雀大路と朱雀門由来」石碑・案内碑建立	1991	京都府・京都市幼稚園へ「日本のおとぎばやし」童話CD寄贈
1984	京都市社会福祉会館アスニー玄関に時計塔及び施設一式寄贈	1994	上京区社会福祉協議会設立にライトバン寄贈
1985	JR二条駅前庭園に花時計設置	1995	京都市へ移動入浴車（上京区へ配車）寄贈 鴨川丸太町上西畔、さるすべり植樹
1989	京都中央市場前ポケットパークに時計塔設置	1997	JR二条駅前市民いこいの広場「しだれ桜」植樹
1990	元離宮二条城内休憩所「朱雀庵」建立		

クラブ事務局 ■ 京都市中京区河原町御池上ル 京都ホテルアネックスビル4F TEL256-1160 FAX251-0585

### 上京区120周年記念

上京区民の文化的情操を高めるのが

## 上京区文化振興会の使命です。

上京区民の文化人によって組織され、  
文化振興に尽力してきました。  
発足以来四〇年余、



- 上京区内の知られざる史蹟の顕彰
- 「上京の史蹟」の発行を基にした「上京・史蹟と文化」の編集、発行
- 春秋の表千家・裏千家による上京茶会
- 上京区在住の能楽・狂言の人間国宝の至芸が間に見られる上京区民新能も今年で35回目